



JAKARTA

Green Mapmaking in Indonesia's Capital

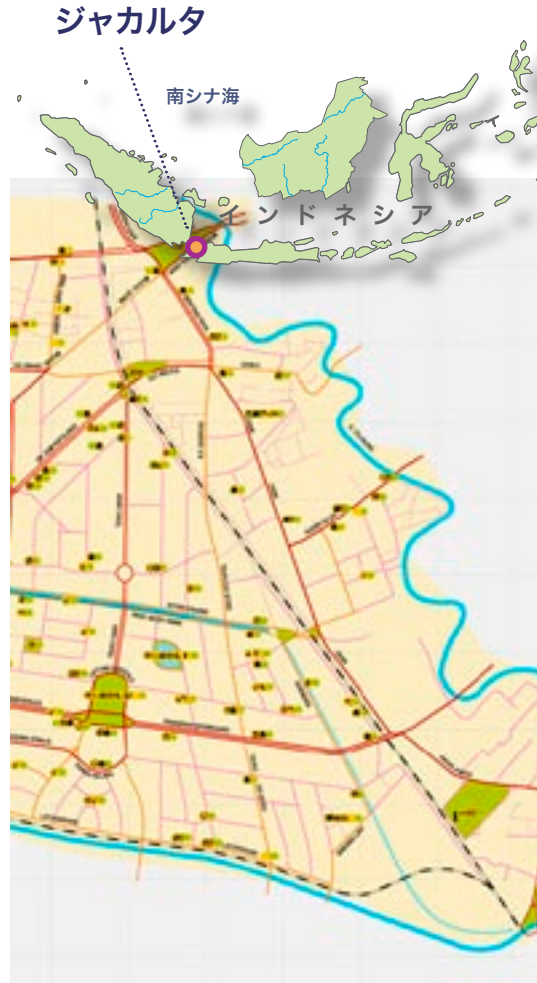


グリーンマップ・システムは、世界各地で制作される自然・文化環境のマップを通して、地域の持続可能性や市民活動を応援する非営利団体です。

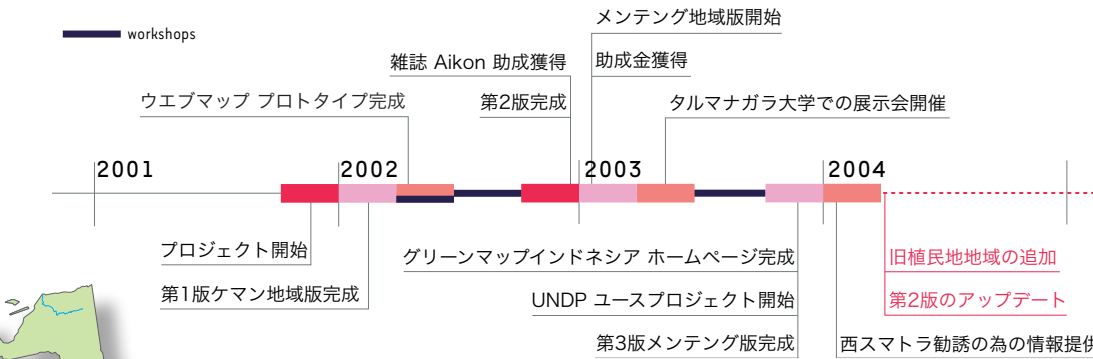


はじめに

Jakarta · Indonesia
Jakarta Green Maps
www.greenmap.or.id



第3版メンテンググリーンマップ詳細 (2003年)



私は都会の中にある自然と文化の関係を表現するツールを長年求めていたので、ジャカルタのグリーンマップを作ることを決意した。

ジャカルタは、インドネシア共和国全国同様、過去30年間産業・生産重視の政策をとり続けたことによって、幾度もの環境破壊を目の当たりにしてきた。独立したばかりのこの発展途上国にとって、「消費」は求めるべき新しい豊かさのバロメーターと見なされてきた。

健全な都市とエコロジー。その概念は元来インドネシアの多くの民族文化に共通するものであるが、近年このような価値観は損なわれてきている。グリーンマップの制作は、都市のリアリティーを一枚一枚剥いでいき、街と環境の健全なあり方を私たちの集団意識の中にもう一度取り戻させてくれるものだとは私は考える。

私たちはまず始めに、ジャカルタの中流階級を利用者の対象とすることにした。小学校に通うことすら贅沢な多くの人間がいるこの国で、彼らは最も教育程度が高い。知識のある彼らに、自らが現状を変えて

いくためには欠かせない存在であることに気付いてもらうことは重要である。ジャカルタはインドネシアの首都なので必然的に中流層の比率が最も高い。

プロジェクトが進展するにつれて、メディア、アーティスト、知識人、学生からのサポートを得ることができた。文化遺産の弱体化と行政機関のミスリードへの懸念が、同時に環境への懸念へ導いたのである。

地図データ

- ・ 使用言語: インドネシア語、英語
- ・ 版数: 3
- ・ 地図形態: 印刷物、ウェブマップ
- ・ 収録サイト数: 第2版-287、第3版-198
- ・ グローバルアイコン使用数: 72

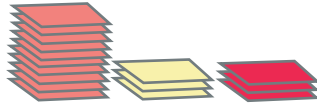


ジャカルタのローカルアイコン7個の一部



マップ制作

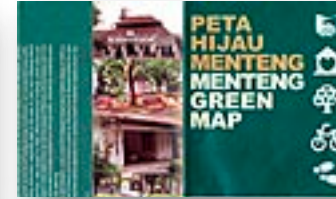
Jakarta · Indonesia
Jakarta Green Maps
www.greenmap.or.id



10,000 copies printed 1st map (as centrefold in *Aikon* magazine), 3,000 2nd map, 3,000 3rd map

初めて制作されたグリーンマップはケマン地域のもので、雑誌『AIKON』の中央見開き付録として出版された。『AIKON』は文化や環境問題を取り扱う国内唯一の雑誌であり、読者層は主に中産階級である。地図の読者対象と一致するので、最も相応しい形で配布できたと思う。2002年の10月に雑誌の出版が終了するまでの八年間、この雑誌は再生紙に印刷されていた。

私たちはジャカルタの地域一つ一つのグリーンマップを常に新しいボランティアグループで作っていくつもりだ。現在までに出版された三版の外観の違いもそれ故である。一連の制作作業はアイコンの説明から始まる。参加者は近辺の調査に繰り出し、時にサイトのオーナーや住民と熱心な議論を交えつつ、街の文化や自然を豊かにしているサイトを確認していく。また地域特定のサイトもアイコンに含まれる。例えば、メンテンググリーンマップには、ソングライター、パティック職人、共和国建国の父と言われる人、知識人などの文化人の住居を地図に載せた。どのグリーンマップアイコンを使うか迷うこともあるが、一定の基準を設けることにより質と一貫性は保たれる。



(左から)
第1版-ケマンガ・グリーンマップ-
2002年2月
第2版-ジャカルタ・グリーンマップ-
2002年12月
第3版-メンテング・グリーンマップ-
2003年10月
メンテング・マップを熱心に作る子供達

2002年に私たちの事務所は、融通手形振出インドネシア協会 (Indonesian Association of Kite Fliers) の非営利事務所に移転した。出版された地図は、その小売スペースを独占しているAKSARA (アクサラ)本屋で販売されている。私たちのウェブサイト、www.greenmap.or.idはその他のインドネシアのグリーンマップと共有している。現在、このサイトはマランの同僚が制作中で、東ジャバシティではまた新たなグリーンマッププロジェクトが発足した。

テクニカルデータ

ソフトウェア:

Adobe Illustrator
QuarkXpress
CoreIDRAW

ハードウェア:

Power Macintosh G4 workstation
HP Scanjet 3c

紙質:

First map: duplicator 80g, recycled
Second map: matted paper 120g

地図形態とサイズ:

Folding

- First map: 47.4 X 30.8 cm/18.7 X 12.1 in
- Second map: A2 (59.4 X 42 cm/23.4 X 16.5 in)
- Third map: A2 (59.4 X 42 cm/23.4 X 16.5 in)

チームワーク

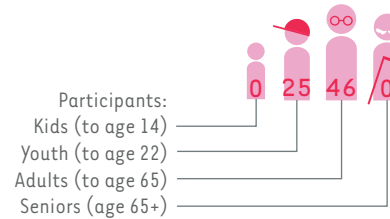
Jakarta · Indonesia
Jakarta Green Maps
www.greenmap.or.id

編集者とグラフィックデザイナーは常に参加しているものの、私たちは毎回違ったグループ構成で地図を制作する。第1版と2版は主にボランティアのグループが取り組み、さらに数人が登録サイトの充実や議論にたずさわった。中心メンバーは、私自身-マルコ・クスマイジャヤ(チームリーダー)、AS・ニンシー(プロジェクトコーディネーター)、ウッケ・コサシ(編集担当)、エンリコ・ハリムとボビー・イランディタ(グラフィックデザイナー)、ジョニ・ファイサル、ヘニ・ウランダリ、ニラ・サリ(研究者)で構成されていた。

第3版チームは、私、ルディ・ハシブアン(プロジェクトコーディネーター)、アティ・カミル(テキスト編集者)、ヘニ・ウランダリ、リア・プタルプター(ボランティアコーディネーター&秘書)、ヤン・プリヤトゥナ(グラフィックデザイナー)、ジョニ・ファイサル、ヘンドゥリ・ソエンドロ(研究者)というメンバー構成だ。ほとんどのボランティアは新卒・新社会人、もしくはジャーナリズム、建築、都市計画、グラフィック・ランドスケープデザイン、文化遺産の保護や芸術などを学ぶ学生である。投資家達はグリーンマップが制作のみの活動ではなく、制作後も社会や政府に街の問題点を発信し続ける活動であることを望んだので、私たちは権威ある専門家たちによって



Partners, Advisors and Board members: 11



書かれた短い記事-消えていく歴史的資産、緑の減少、環境法令の違反などについて-も掲載した。

ディスカッション、ワークショップ、発表イベントをする時、私たちは必ず手元にある世界各国のグリーンマップを紹介する。他国のグリーンマップは私たちにあってだけでなく、一般市民にとっても刺激的なものであるからだ。よりカラフルで細かく高画質なジャカルタグリーンマップを求める人々の声にできる限り応えていくつもりである。

どの地図もそれに関連する組織によってサポートされている。例えばメンテング地区の地図制作ではゲーテ・インスティテュートのボランティアの人が集まる場所や発表イベントのスペースを提供していただいた。この文化センターはメンテング地区に位置し、庭にはフィカス・エラスティカという古い木が植えられている。これは、2つのグリーンマップアイコンに該当する資産だ。



<<タルマナガラ大学・ラワングギャラリーで世界のグリーンマップ12種類を展示した会場の模様。

展覧会に出席した学生や >> 講師はワークショップにも参加。



ジャカルタグリーンマップを使ってメンテング近隣の探索準備をする日蓮宗仏教センターの子供達。



<< 我々のターゲットする人々への書店・インターネットカフェでの第2版発表会の模様。

メンテンググリーンマップの >> メンバーがゲーテ・インスティテュートでアイコン風船をふくらませている模様。



制作費

Jakarta · Indonesia
Jakarta Green Maps
www.greenmap.or.id

初版グリーンマップは雑誌『AIKON』に6ヶ月もの間5名の人材を提供していただくなど多大な支援をしていただいた。印刷・ワークショップにかかる交通費などの資金は後々になってワールドバンクの小補助金制度で賄われたが、ほとんどの仕事は無給で行なわれており、2003年の3月からはハーフタイムの有給スタッフ1名で活動している。

私たちにとってこの活動の有益な点は、人々がジャカルタを学ぶ手助けとなっていることと政府に圧力をかけることができることだ。地図とは人々が情報発信、問題の提議、自らの関心事を共有できるプラットフォームである。大変実用的なメディアだ。現時点ではこのプロジェクトは、金銭的な収益はこれといてない。個人的に私は1ヶ月30ドル、週6時間ほどをグリーンマップに費やしている。プロジェクトを持続させるため、いかに地図の売上を伸ばすか私たちは現在模索中だ。より充実した内容と魅力的なデザイン、メディアへの露出を増やすことによって需要は増えると思込んでいる。それだけではなく、他の地図に劣らないためにもより魅力的なサイトを載せようと探索している。



Approximately **756** website visitors per year

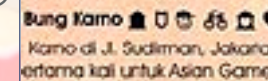


(上から)『ジャカルタ・ポスト』紙のネット記事の賞賛記事-03年11月7日。Jarigan Plestarian Pusaka Indonesiaのウェブサイトに掲載されたメンテンググリーンマップのプレスリリース。



ジャカルタマップの第3版、第2版に使用されたアイコン

これらのアイコンは全グリーンマップに共通に使われている



エコノミックデーター

制作主体: Network of NGOs, cultural institutes, artists, individuals

資金源:

Grants, in-kind, sales, private funding

主な支援団体:

Aikon magazine
Society for Built Environment
Goethe Institut Jakarta
Ms. Sari Madjid
World Bank Small Grant Programme

専任スタッフ: 3, combination of paid and voluntary

頒価: Rupiah 5,000 (US\$0.60) for the 2nd map. Rupiah 10,000 (US\$1.20) for the 3rd map

派生プロジェクト: Exhibits

評価

Jakarta · Indonesia
Jakarta Green Maps
www.greenmap.or.id

このプロジェクトの最大の難関は、増大する時間と労力を限られた予算の中で賄うことだ。当初はボランティアの人々の緩やかなネットワークの中で活動していたが、プロジェクトが成長するにつれ、より組織化された団体としての活動が必要になってきている。ボランティアの方々をきちんとマネージしなければならないし、みなそれぞれの理由でプロジェクトに出入りするの、有給のコアグループを作ることは必要不可欠だ。

私たちにとってグリーンマップの一番の価値は、ドキュメンタリーとしての役割にある。またグリーンマップによる国際的なネットワークには、たくさんの方が関心を示す。彼らはこんなにも多くの人間が自分達と同じように環境のことや文化のために活動をしていることに驚き、勇気づけられる。ジャカルタグリーンマップもまたヨグヤカルタやバランといったインドネシアの他の街にグリーンマップの火種をつけた。ワークショップを開くためにバンドゥン、スラバヤ、メダンにも招かれた。私たちはプキティンギ・スマテラ地区を地図にしてその知られざる価値を表に出そうとしている。そうすることによって、軽率な開発を止める活動が他の地域でも広がるかもしれない。ごく最近になっ



ジャカルタグリーンマップは多くのメディアで紹介された。(左から)『Bobo』(02年8月)、『Tempo』(03年2月)第1版、ケマングマップを出版した『Aikon』誌では、「スローダウン」の特集で掲載された(02年2月)。展覧会ポスター、『Aikon』誌のセンター折りマップの表紙。

て私たちのグリーンマップは、国連開発プログラムの環境能力開発部の関心を集めており、手作り住居が並ぶ低所得地域の問題のある学生に、建設地図制作や関連技術を教える時に使われる。

私たちは自分達の活動がジャカルタ市に与える影響を組織的に訴えていく方法論を持ちえていないが、前向きなコメントを頂いているし、メディアの取り上げ方もとてもよい。市民の方々はメーリングリストに登録しワークショップ(通常大学内で開かれる)に来てもらうといった形で参加できるようになっている。私たちの活動は過去2年の間に、約12種類のメディアに掲載された。紹介されたメディアは、『テンポ』、『コーランテンポ』、『コンパス』、『ジャカルタポスト』(英語)、『ジャカルタ新聞』(日本語)、『フェミナ』、『ハーワールド』(どちらも女性誌)、『ボボ』(児童向け雑誌)、『インティサリ』、トランスTV、ラジオ68H、ジャクニュースラジオ、ラジオフィーメール、ラジオER/エシックラジオなどである。



(上から)ケマング近隣の初版マップ。裏表紙詳細。

むすび

Jakarta · Indonesia
Jakarta Green Maps
www.greenmap.or.id

私たちの地図は、参加して下さる方々のスキルや知識が毎回、反映されるため、一枚一枚違った地図ができるのが特徴的だ。極めてローカルな情報、権威ある専門家の話を織り込みつつ、毎回1つの地域を丹念に制作する過程も独特だ。私がこの活動で一番楽しいのは、予想もしていなかったような発見がいつもあることだ。発見のプロセスが私たちに新しい知識を与え、未来へと導いてくれる。

近い将来、私たちは地図の販売や営業に力を入れる予定だ。グリーンマップ活動を存続させるためにも、より多くの書店、観光者向け掲示板や共催者を探していかなければならない。さらにあと2つぐらい市内の地域のグリーンマップを作ったら、ジャカルタ全体のグリーンマップに着手するつもりでいる。それと同時に、ジャカルタ以外の国内のおもしろそうな地域—例えばバリのウバドなど—のグリーンマップも作れればと思っている。大変人気のある面白い地域の地図は収益も大きいと思われるので、そういった場所ではグリーンマップの活動を広げるだけでなく、地図の販売収入によって他の地域の活動をサポートすることができるようになるかもしれない。

“地図を見せてもらおうと、今にでも自転車にまたがって、サイトを訪ねたり街の探検がしたくなってしまう！”

—ヴィヴィ・ザブキ 28歳女性、ラジオジャーナリスト

“私は自分の子ども達を連れて、地図に書かれていることを追ってみたいと思います。しかし、これらのすてきな場所が私達が訪れたとき、まだ存在していると保証できるでしょうか？”

—ミア・アマリア 32歳女性、脚本家

“地図は完成することがありません。私はメンテングの住民ですから、地図に足すべき場所があるのはいつも分かります。”

—ハディ・プルノモ 60代男性 映画製作者



メンテングの伝統的家屋には、開放的なベランダ付きの玄関があり、これで局地的な気候を調節する。また、昔はこれが開放的な生活様式を生んでいた。



地域グループによってよく管理されているメンテングの小公園。



放置されたままになっているジャカルタ中心部を流れる重要河川、シリウング川の不法投棄。



(左から)第3版ジャカルタマップに掲載したメンテング近隣のモスク。珍しく晴れた朝のジャカルタ南部の山々。殆ど生き物を見ることができず、見ることができるのは年に5-6回程度。



クレジット

ジャカルタストーリー監修:
Marco Kusumawijaya
Jakarta Green Map Makers
Kompleks Carina Sayang II
Blok A, No. 12A
Jakarta 14440
Indonesia
tel: +62 21-55951515
mobile: +62 (0)816811563

All map, web and promo images © Jakarta Green Map
All Other Photos by:
Marco Kusumawijaya, except
page 5) top, from left: Ludi Hasibuan, © Bobo
Magazine; Agus Hidayat, © Tempo Magazine; © Aikon
Magazine, far right: Enrico Halim, © Aikon Magazine



<< メンテンググリーンマップを
手伝ってくれたヴォランティアの
方々。

マップの申し込みは?

email: marcokw@centrin.net.id
or visit the online store at
www.greenatlas.org

www.greenmap.org, グリーンマップ・システムの
ホームページ: 世界中の全てのグリーンマップ・プロジ
ェクト、グリーンマップ・アイコンポスター、ユースマッ
プ制作ツールなどがいくつかの言語でご覧になれ、リン
クしており、持続可能なこの活動への参加のお誘い
も掲載しております。



© Green Map® System, Inc. 2004
PO Box 249, New York, NY 10002 USA
info@greenmap.org